

# 回覧

発行番号 第76号  
発行日 平成28年12月26日  
発行 鹿追消防署



# 広報 しょうぼう



## ☆ 今号の内容 ☆

- ・平成29年「鹿追消防団出初式」について
- ・除雪中の事故によって毎年多くの犠牲者が出ています
- ・救急講習いかがですか？
- ・年末年始も火の用心

日本ジオパーク認定の町 鹿追町  
～ 火山と凍れ（しばれ）が育む命の物語 ～



とがね山ジオパーク



# 平成29年鹿追消防団出初式

全町、朝8時に

ウ〜、ウ〜、ウ〜

サイレンが鳴ります。

日時: 1月6日(金)午前10時00分

場所: 鹿追消防庁舎



新年を迎えるにあたり、本年の幕開けに相応しく出初式において、鹿追消防団員及び消防車両によります分列行進を行います。(午前10時10分頃 消防庁舎前訓練場)

防災への決意を新たに、平成29年も鹿追町の安全と安心を守る消防団員に対しまして、町民皆様のご支援を頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

## 平成29年鹿追消防団出初式(式次第)

1. 団員整列
2. 国旗掲揚
3. 人員報告
4. 町長挨拶
5. 巡閲
6. 分列行進
7. 表彰

鹿追消防庁舎前訓練場

//

//

//

//

//

鹿追消防庁舎2階大会議室

# 除雪中の事故によって毎年多くの犠牲者が出ています。

■ 雪による事故の死者の多くは除雪中の事故によるものです。



除雪中の事故はこんなケース、  
こんな原因で起きています。

## 除雪中の事故の特徴

- 除雪作業中、特に屋根からの転落による事故が多い。
- 作業を始めてから間もない事故が多い。
- 高齢者の事故が多い。
- 発見時間が遅れるほど死者が多い。
- 1人での作業中の事故が多い。
- 「気兼ねする」「無理と思わない」高齢者が多い。

## 原因別に見た事故の特徴

### 除雪中の屋根からの転落

- はしごから転落。
- シーズン1回目、気温上昇時に事故が発生。
- 命綱、ヘルメットをしていない。
- 地上に積雪がないことで被害の程度が大きい。
- 1階の屋根の事故が多い。

### 除雪機の事故

- 雪詰まりを除去する時の事故。
- 高齢者以外の事故も多い。

### 除雪中の水路等への転落

- 発見までの時間が長く死亡に至る例も。

### 屋根からの落雪

- 気温上昇時に軒下にあった。
- 落雪式屋根からの落雪が危険大。

### 除雪に伴う発症

- 寒い屋外での重労働によって発症。

### 屋根からの転落

- 屋根の上でスリップして転落
- 屋根の上の雪が滑り落ちてきてバランスを崩して転落
- 落ちた場所は積雪がなく、地面、アスファルト、コンクリートが露出していたため、被害の程度が増大した
- 気温が暖かく、屋根の雪が滑りやすくなった
- 命綱、ヘルメットをしていなかった

### 屋根からの落雪

- 軒下で除雪中に落雪で埋まる、落雪が直撃する
- 気温が暖かく、屋根雪が緩み出すときに軒下に近づいた
- 落雪式屋根からの落雪が危険大

### 水路等への転落

- 玄関先の融雪槽にスコップで投雪中、槽内に転落
- 融雪槽に取り付けてある転落防止柵が外してあった

### 除雪機の事故

- 除雪機のエンジンを止めず、雪詰まりを取り除こうとしたため、体の一部が巻き込まれる
- 約7割が40代、50代など高齢者以外の比較的若い世代

### はしごからの転落

- はしごの足が滑って、はしごと一緒に転落
- はしごから屋根に移動するときに転落
- はしごの上から雪庇を落としていてバランスを崩し転落
- はしごを固定していなかった
- 足場を除雪したあとで、地面が露出していた
- 命綱、ヘルメットをしていなかった

### 除雪に伴う発症

- 除雪作業中に急に座り込んで倒れ(心肺停止)、救急搬送される
- 体調などに無理や油断があった

## 除雪中の事故を防ぐためのポイント

### 1 必ず2人以上で

- 1) 近隣どうし、地域コミュニティと協力して行う
- 2) 家族、親戚と一緒に行う
- 3) その他の雪処理の担い手と一緒にを行う

### 2 安全性を高める

- 1) 安全の意識を高める
- 2) 道具、器具、機器を活用する
- 3) 適切なメンテナンスをする
- 4) ノウハウ、技術、知識を身につける
- 5) 基準、ルールを定める

### 3 被害の程度を軽減

- 1) 事故の衝撃を軽減する
- 2) 早期発見する
- 3) 救命救急する

### 4 作業から解放

- 1) 自力での雪処理が困難な世帯への支援を充実する
- 2) 雪下ろしを不要にする施設整備をする

思い当たりませんか？

除雪作業に対する慣れや過信、油断が事故を招いています。

■ 「雪下ろしには慣れている」という過信や油断はありませんか？

■ 自分の年齢や体力に対する過信はありませんか？

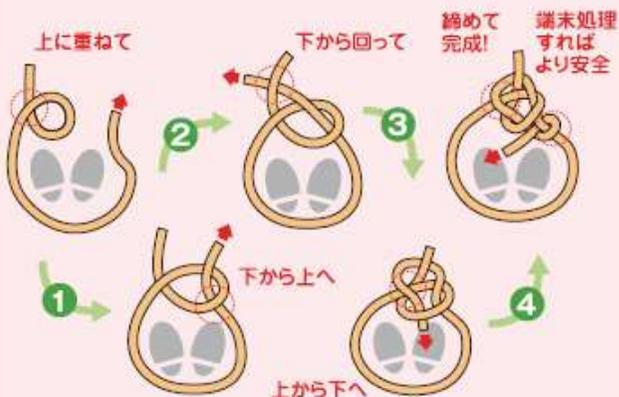
※ここでいう事故の対象は、「除雪中の屋根からの転落」、「除雪機による事故」、「除雪中の水路等への転落」、「除雪中の転倒」、「除雪に伴う発症」、「屋根からの落雪」とし、「雪による建物の倒壊」、「雪崩による事故」、「雪道での歩行中の転倒」、「雪道での走行中のスリップ事故や吹雪による事故」、「スキー等のレジャー事故」、「雪山による事故(山岳事故)」は含めていないものであるが、これらの被害についても、今後、関係機関と連携して取り組んでいく必要がある。

# 除雪中の事故の危険を理解し、安全な対策を講じることが、事故を防ぎます。

転落防止のため、安全帯や命綱を使いましょう。

- 命綱を体に固定するには専用のフックがついた安全帯の使用が効果的です。
- 安全帯がない場合は、命綱にはザイルや麻ロープを使用しましょう。トラロープは滑りやすいので使わないようにしましょう。
- 命綱を固定するには反対側の家の柱に固定するなど状況に応じて工夫しましょう。
- 命綱は屋根の上で止まる長さに調節しましょう。

## 安全帯がない場合の命綱の結び方(もやい結び)



ロープによる命綱を腰など体に巻く時は、ゆるめずしっかり巻きましょう。

除雪機の雪詰まり除去はエンジンを止めてから行いましょう。



- 除雪機の雪詰まり除去は、素手で行わず、棒などを使って行いましょう。

除雪の道具のメンテナンスを忘れずに。

- スコップ、スノーダンプはロウを塗るなどして手入れを怠らないようにしましょう。雪がつきにくくなるスプレーも市販されています。

事故の防止に役立つ道具、器具、機器を利用しましょう。

- 命綱セット(安全帯・ハーネス・命綱・フック等)やヘルメットを備えましょう。

救急救命の方法、AEDの使い方を覚えておきましょう。

- 除雪中の事故を想定した救急救命講習やAED講習に参加して、救急救命の方法やAEDの使い方を日頃から身につけておきましょう。

AED＝自動体外式除細動器。心臓がぐちゃぐちゃになり、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)の時に、心臓に電気ショックを与え正常なリズムに戻すための医療機器。

除雪作業時には携帯電話を携行しましょう。

- 除雪作業時には携帯電話を携行して、もし事故が起こったときに家族や近隣、救急医療機関などへ連絡がとれるようにしましょう。



- 1 専用フックのついた命綱と安全帯
- 2 安全帯は体全体を支えるフルハーネスタイプもあります
- 3 ヘルメットは正しく着用
- 4 動きやすい服装で、目立つ色がおすすめ
- 5 靴底が滑りにくいゴム長靴
- 6 防寒性の滑りにくい手袋
- 7 滑り止め金具のついたはしご

# 救命講習



## いかがですか？

心肺蘇生法・・・  
どうやってやる  
んだっけ？

食べ物をつまら  
せた時ってどう  
しますか？

子どものケガや  
ケイレンってどう  
したらいいの？

ケガや病気にな  
る前に救急予防  
をしましょう。

うちのおばあちゃ  
ん心臓が悪いんだ  
けど、いつ119  
番したらいいの？

ハチ刺され等の  
アレルギーはあ  
りませんか？

**救命講習の内容が一部変更されています。**

可能な限りご要望に応じた講習を行いますので、まだ受講されて  
いない方や、受講から1年以上経過している方は是非ご検討くだ  
さい！！ご連絡お待ちしております！！

お問い合わせ先 鹿追消防署 救急係

TEL 0156-66-2201 まで





### 平成28年火災出動状況

建物火災	3件
車両火災	0件
その他	0件
合計	3件

### 平成28年救急出動状況

交通事故	13件
急病	85件
その他	65件
合計	163件



11月末現在

## 年末年始も火の用心

2016年も後わずかとなりました。  
 火の元には十分注意し輝かしい2017年を迎えましょう。  
 新年も町民から信頼・期待される鹿追消防署・鹿追消防団を目指し地域防災の安全のため尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

### とかち広域消防事務組合

#### 鹿追消防署

署長 内海卓実  
 外職員一同

#### 鹿追消防団

団長 遠藤弘一  
 副団長 佐々木和男

第1分団長 上出恵三  
 第2分団長 秋葉清次  
 第3分団長 武藤敦則  
 外団員一同

消防車のサイレンが聞こえる。どこかで火事だろうか？

災害発生時、消防署へ問い合わせの電話が多数発生します。  
 そんなときのために災害案内ダイヤルが平成28年4月より開始となります。お問い合わせは下記のご連絡先をご利用下さい。



# 0180-99-1198



※IP電話の一部では災害案内番号は利用できません。その場合、携帯電話でお掛けなおし下さい。